

大学・高専機能強化支援事業
(学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援)【支援1】
事業概要

令和5年7月時点

1. 基本情報

選定年度	令和5年度	学校コード	F114210104616
大学名	横浜市立大学	設置区分	公立
学校種	大学	都道府県	神奈川県
大学全体の総収容定員数	3,780名 ※令和5年5月1日時点		
学部学科 組織構成	国際教養学部（国際教養学科）、国際商学部（国際商学科）、理学部（理学科）、データサイエンス学部（データサイエンス学科）、医学部（医学科、看護学科）		

2. 事業概要

<p>人々のウェルビーイングを高めるため、環境、健康、都市社会、経済、その他多様な領域において、データサイエンス技術を活用し、社会のイノベーションに貢献する人材を育成する。その目的のために「共創」をキーワードとする入学定員120名、収容定員480名からなる「新データサイエンス学部」（名称未定）を令和9年度に開設予定である。</p> <p>新たに開設する学部では、データサイエンスを社会課題解決に役立てるために必要な知識の修得と技術の活用を可能にするとともに、本学の他の学部が提供する授業科目を組み入れることで、文理融合・学際的視点を持つ総合知を醸成するほか、企業等との連携によるセミナーやPBL実習を1年次から段階的に実施するなど、体系的・実践的なカリキュラム編成とし、データサイエンスの方法論で各種課題を解決するプロセスを学修する。</p> <p>また、一般選抜以外にも総合型選抜等の実施や外国人留学生の受入など多様な学生の獲得を目指す。教育研究に加え、学生・教職員、さらには産業界や自治体との交流を促進し、価値創造の場となる施設の充実を図る。</p>
--

3. 本事業で新たに設置等を行う組織

改組予定年度	令和9年度
認可申請・届出予定	令和8年度 ※既に申請・届出している場合はその年度を記入
改組内容	学部の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）
設置等組織名	新データサイエンス学部（仮称・未定）
設置等組織の学位分野	理学関係 経済学関係
当該学部等の所在地	横浜市金沢区瀬戸
入学定員	120名
収容定員	480名
入学定員の増加数	120名
他学部等の入学定員の減少数	120名

※学部・学科を新設する計画である場合は、当該学部等の所在地欄は予定所在地を記入。

※入学定員には編入学定員を含む。

<基本情報>

改組予定年度：令和9年度
 改組内容：学部の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わない）
 設置等組織名：新データサイエンス学部（名称未定）
 入学定員：【R9新設】120名
 所在地：横浜市金沢区

<事業取組概要>

フェーズ1	・検討ワーキンググループ設置と学部設置構想の検討（R5.9～R8.3） ・企業等との設置構想に関する協議（R6.4～R7.3） ・文部科学省への学部設置事前相談（R7.6、R9.4設置予定） ・高等学校への入学意向調査及び企業等への採用意向調査（R7.8～R8.2）
フェーズ2	・データサイエンス棟（仮称）の検討・整備（R5.9～R9.3）
フェーズ3	・自走化戦略の深化に向けた取組の実施（R9.4～R13.3）

<これまでの実績・課題>

- ◎首都圏初のデータサイエンス学部を設置し、社会課題をデータから数理的・分析的に考える基礎的能力を持ち、企業等と共創して課題解決できる人材を育成（H30～）
- ◎データサイエンス学部の志願倍率^{※1}及び就職率^{※2}は高く、社会からの高い人材ニーズ
- ◎文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（応用基礎レベル）」認定と先導的で独自の工夫・特色を有するプログラムに選定（R4～）
- ◎文部科学省「超スマート社会の実現に向けたデータサイエンティスト育成事業」を通じた社会人や他大学院生に向けたデータサイエンス教育の提供（H30～）
- ◎横浜市立高校の「探究活動」への参画や高校教員向け研修の実施等、地域の学校と連携してデータサイエンスの普及に貢献
- データサイエンス学部の入学定員規模（60名）では、国内外の社会課題解決を担う上で、十分な人材の受入と輩出に不足
- ※1 R5年度志願倍率（一般選抜前期日程）は、5.4倍と国公立大学前期日程平均2.9倍を上回る。※2 令和4年度卒業生の就職率は100%と高い人材ニーズがある。

現在のデータサイエンス教育・研究を深化させ、人々のWell-Beingを高めるために、環境、健康、都市社会、経済、その他の領域において、データサイエンス技術を活用し、社会のイノベーションに貢献する人材の育成と輩出



<改組後の教育内容>

- ・データサイエンスを軸に社会課題を解決するために必要となる「データエンジニアリング力」、「データアナリティクス力」、「社会展開力」を習得
- ・企業等と連携した講義やPBLを1年次から段階的に実施し、データサイエンスの方法論で各種課題を発見・解決するプロセスを学修し、その効果を検証
- ・他学部の専門科目を教育課程に組み入れ、各分野に精通する教員からの学びを通して、文理融合・学際的視点を獲得し、総合知を涵養

<改組後の教育体制・環境>

- ・実社会でのDXソリューション実装の経験に裏打ちされた知識を教授できる実務経験を有する教員を配置
- ・データ管理、分析に適した設備及び学生・教職員、さらには産業界や自治体との交流を促進し、価値創造に触れることができる施設の整備

<外部資金の獲得に向けた取組>

- ・JST「共創の場形成支援プログラム（共創分野本格型）」や文部科学省「地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業」を基盤に研究成果の社会実装推進による研究費や知財収入の増加
- ・戦略的な渉外活動強化による寄附金の増加

<他大学との連携した取組>

- ・単位互換制度を活用した他大学生への科目受講機会の提供
- ・海外大学への留学プログラムの実施

<多様な入学者確保に向けた取組>

- ・高大接続等によるデータサイエンスの普及への貢献と女子志願者の開拓
- ・社会人や留学生を含む優秀で多様な人材獲得に繋がる入学者選抜の実施